

絵本の100年展 — 子どもたちへの贈り物

The Century of PICTURE BOOKS

Kariya City Art Museum 刈谷市美術館

1999年9月25日(土) — 11月7日(日)

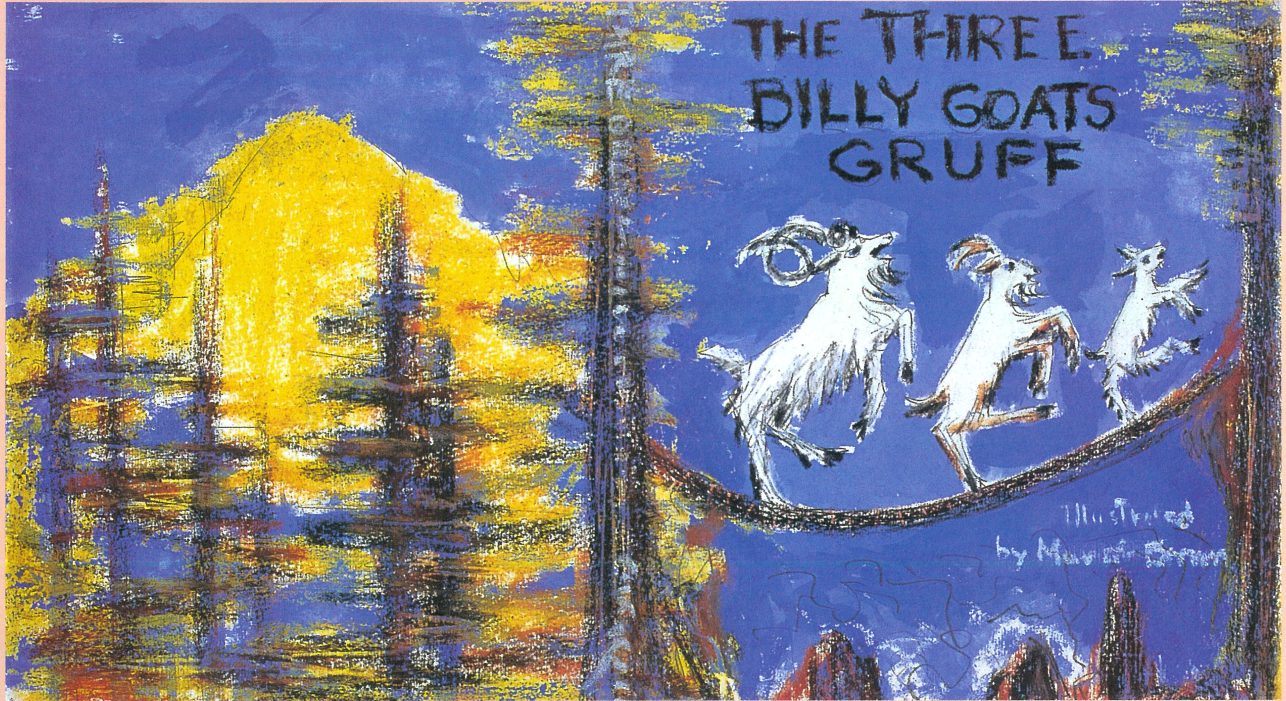
会期中一部展示替えをおこないます。

前期展示：9月25日(土)～10月17日(日) 後期展示：10月19日(火)～11月7日(日)

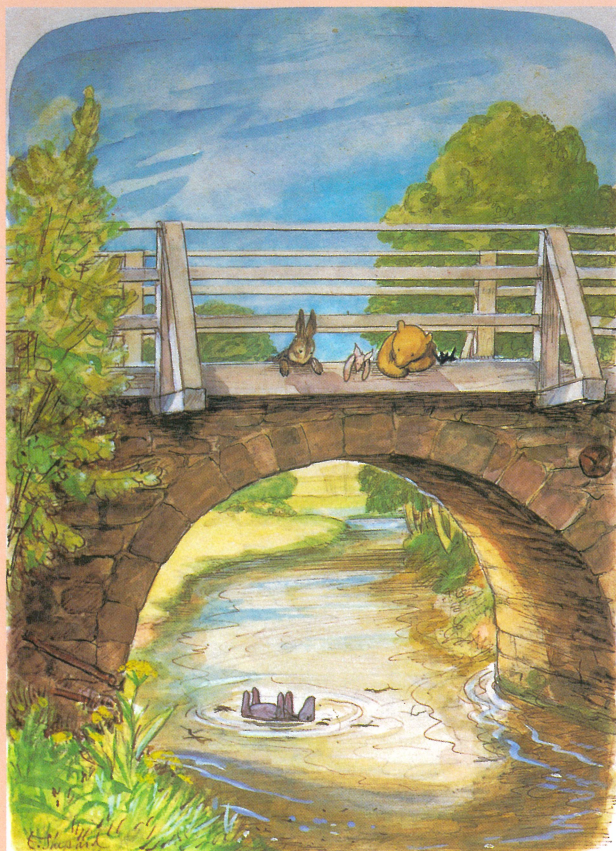
休館日：9月27日(月)・10月4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)・11月1日(月)・4日(木) 開館時間：午前9時—午後5時 但し、金・土曜日は午後7時まで開館(入館は閉館30分前まで)

入場料：一般800円(600円)、学生(小・中・高・大学生)600円(400円) サビエ展と共通チケット・()内は前売り料金及び20名以上の団体料金

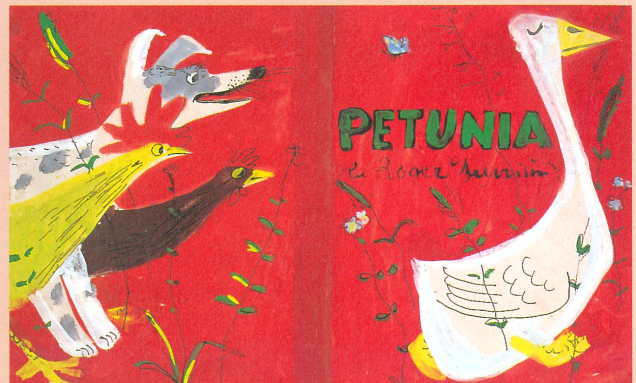
主催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、朝日新聞社 後援：日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、愛知県教育委員会



「三びきのやぎのからからどん」 マーシャ・ブラウン 1957年



「クマのプーさん」 E・H・シェパード 1967年 © Dutton Children's Books



「がちょうのペチューニア」 ロジャー・デュボアザン 1950年 © Jane Voorhees Zimmeri Art Museum

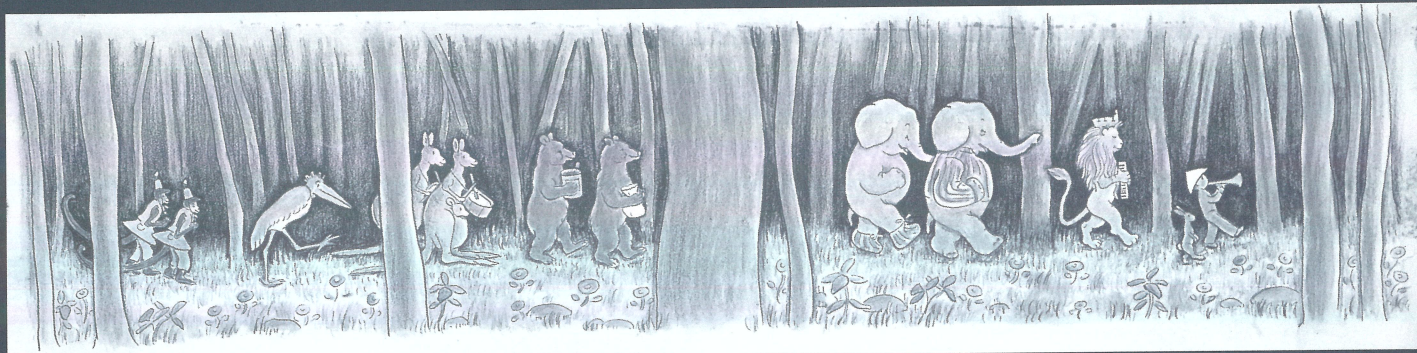


「ババル ほら穴探検」 ロランド・ブリュノフ 1994年

クマのプーさん、ぞうのババル。みんなの仲間がやってくる。

絵本の100年展 — 子どもたちへの贈り物

The Century of PICTURE BOOKS



「もりのなか」 マリー・ホール・エッツ 1944年 © Kerlan Research Collection, University of Minnesota



「冬」 ビアトリクス・ポター 1894年
© Donnell Library Center, the New York Public Library



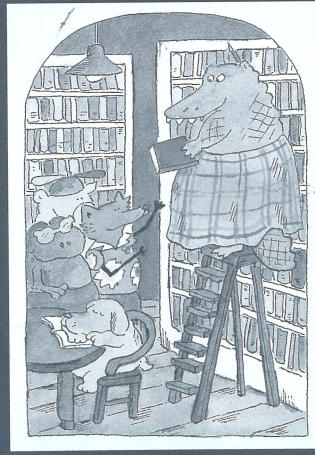
「ちいさいおうち」 バージニア・リー・バートン 1942年
© Kerlan Research Collection, University of Minnesota



「はなのすきなうし」 ロバート・ローソン 1936年
© Kerlan Research Collection,
University of Minnesota



「すてきな三にんぐみ」 トミー・アンゲラー 1961年
© Kerlan Research Collection,
University of Minnesota



「キツネくん」 ジェームズ・マーシャル 1992年
© Kerlan Research Collection,
University of Minnesota

会期中の催しもの

ワークショップ 絵本をつくろう!

「うずうず、へんしんえほん」

10月16日(土)・10月30日(土)

午後2時～4時30分

内容＝カードにマーブリングの方法で、うずうずもようをつけます。ふたつおりにしたカードにきりこみを入れて、絵本をつくります。

対象＝5歳～小学3年生

講師＝山口ももこさん(美術家)

場所＝美術館研修室

定員＝各日20名(応募多数の場合は抽選)

参加費＝500円(レクリエーション保険+材料費)

「○で絵本」

10月24日(日)・10月31日(日)

午前10時～午後4時

内容＝カードにいろいろな○を描きます。それをふたつおりにして…。どんな絵本ができるかな?

対象＝小学4年生～中学生

講師＝山口ももこさん(美術家)

場所＝美術館研修室

定員＝各日20名(応募多数の場合は抽選)

参加費＝800円(レクリエーション保険+材料費)

ワークショップの申し込み方法

往復はがきに、参加したい日・参加者名(ふりがな)・保護者名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・園名・学校名・学年・年齢を記入して、刈谷市美術館までお申し込みください。

申し込みしめきり

10月5日(火) 必着 ※返信用はがきに住所、氏名を記入してください。

おはなし会

10月23日(土) 午前11時～

講師＝清水多津子さん

(刈谷市中央図書館司書)

場所＝美術館研修室

定員＝20名(当日受付・先着順)

子どものためのギャラリートーク

10月9日(土)・10月23日(土)

対象＝小学1年生～3年生

午前10時～11時

小学4年生～中学生

午後2時～3時

定員＝10名(当日受付・先着順)

おとなのためのギャラリートーク

10月16日(土)・10月30日(土)

午前10時45分～

子どもの頃、大人たちが読み聞かせてくれた絵本。どきどきわくわくしながら、物語の世界へと誘われた日々。世界中の人々が、そうした温かな思い出を胸に、今は大人となった自分が子どもたちに絵本を読んでいることでしょう。作家ルイス・キャロルが言うように、いつの時代も、「子どもたちに物語を語り与えることは、大人ができる最も愛情のある贈り物」なのです。

子どものために絵の入った本が初めて出版されたのは、1658年、コメニウスの『世界図絵』でした。この絵本は、30年戦争ですべてを失った子どもたちのために、神話や古代語をわかりやすい絵解きで説明したもので、知識の本として当時大変喜ばれました。19世紀末には、爆発的な人気を得たケイト・グリーナウェイの『窓の下で』、20世紀には、今なお人気の高いビアトリクス・ポターの『ピーター・ラビット』、E・H・シェパードの『クマのプーさん』、バージニア・リー・バートンの『ちいさいおうち』、マーシャ・プラウンの『三びきのやぎのがらがらどん』など優れた絵本がつつぎに誕生しました。

本展では、今世紀に誕生した世界の代表的な絵本作家約50人の作品、約300点を展覧します。時代を越えて愛され、語り継がれる素晴らしい絵本の数々。イマジネーションの魅力にあふれた絵本の世界をご紹介します。